

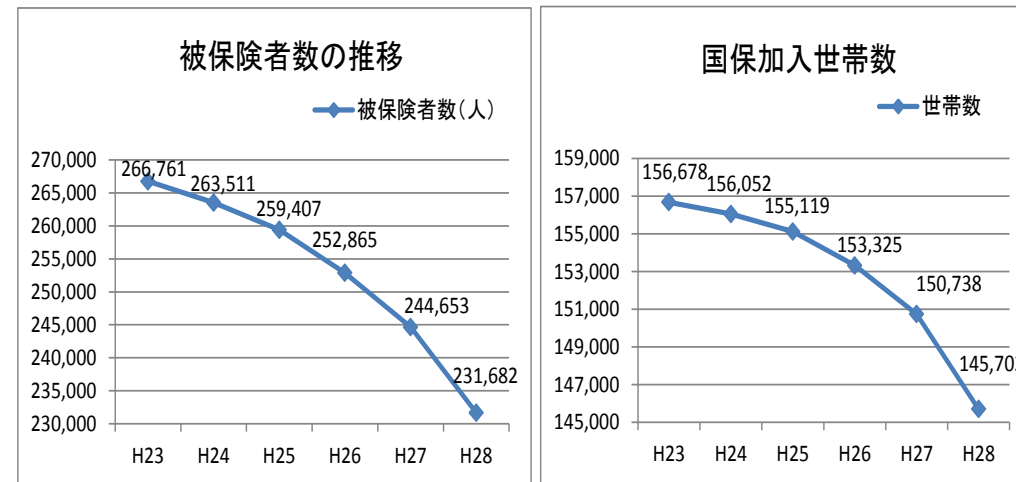
議題1

国民健康保険事業の概要

(1) 加入者について

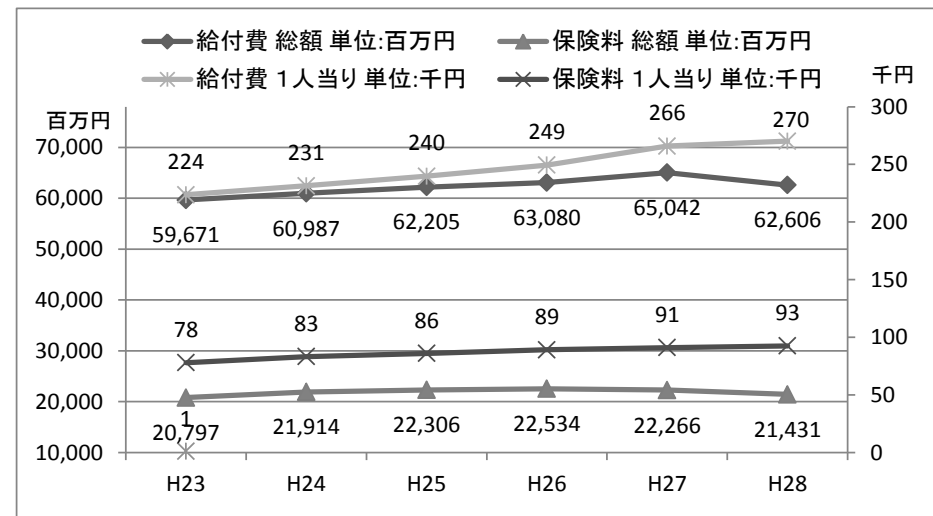
(特徴) 高齢者、低所得者が多い。

	H28	備考
被保険者数(人)	231,682	市人口の1/4
うち65歳以上	97,399	被保険者数の40%
世帯数(世帯)	145,702	市世帯数の1/3
うち所得200万以下	97,329	被保険世帯数の67%

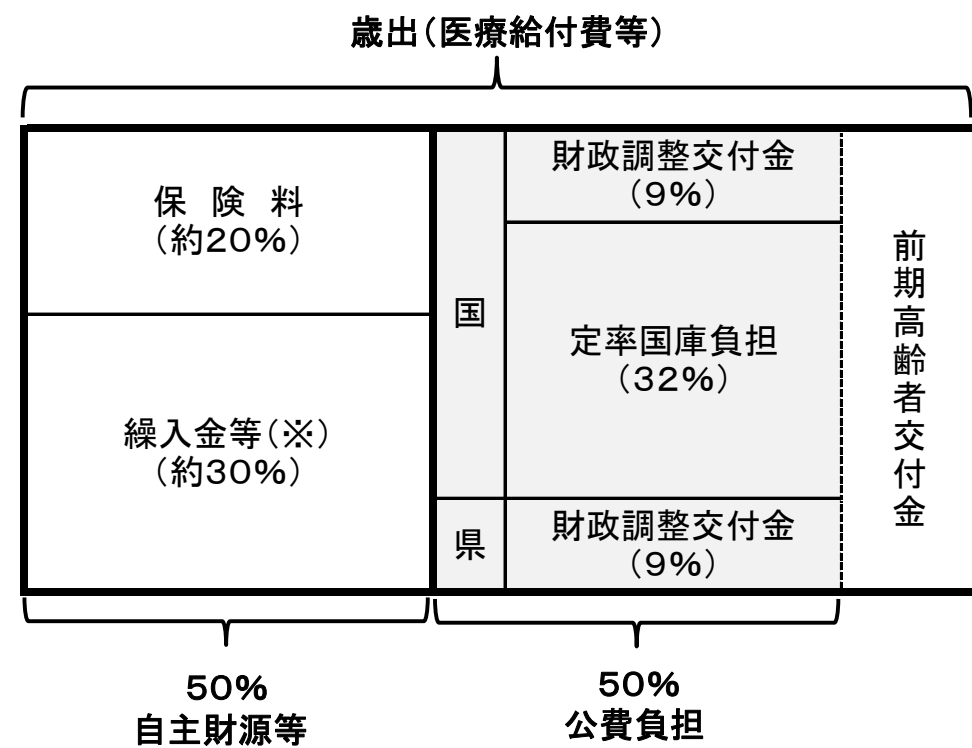


(2) 給付費と保険料収入の状況

年度	給付費		保険料	
	総額 単位:百万円	1人当り 単位:千円	総額 単位:百万円	1人当り 単位:千円
H23	59,671	224	20,797	78
H24	60,987	231	21,914	83
H25	62,205	240	22,306	86
H26	63,080	249	22,534	89
H27	65,042	266	22,266	91
H28	62,606	270	21,431	93



(3) 国保特別会計のしくみ

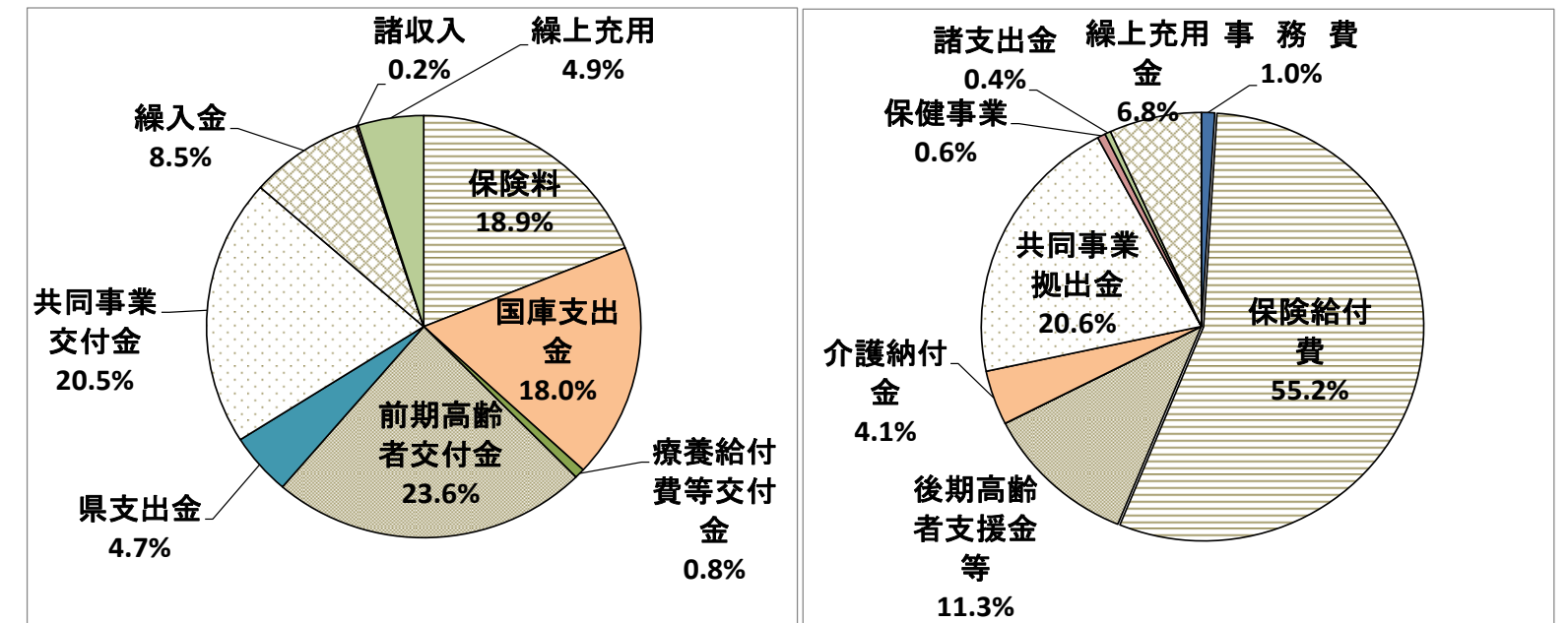


※ 繰入金について

<法定>
(主なもの)
・保険料軽減分(7,5,2割軽減)
・保険者支援分
…保険料軽減対象者数に応じて繰入
・職員給与費等繰入
…人件費、事務費に係る経費
・出産育児一時金繰入
…要した経費の2/3

<法定外>
(ルール分)
・人間ドック、脳ドックに要した費用の3/4
・保険料独自減免分(1割減免)
(ルール外分)
・赤字繰入…収支不足を埋めるための繰入

(4) H28年度決算



<歳入>	億円
保険料	214.3
国庫支出金	203.7
療養給付費等交付金	8.6
前期高齢者交付金	267.9
県支出金	53.7
共同事業交付金	231.9
繰入金	96.4
うち法定外分(C)	(35.8)
諸収入(一般・退職・事務費)	1.9
小計(A)	1078.4
平成29年度からの繰上充用金	55.2
合計	1133.6

<歳出>	億円
事務費	11.0
保険給付費	626.1
後期高齢者支援金等	128.3
介護納付金	46.7
共同事業拠出金	233.1
保健事業	6.7
諸支出	4.9
小計(B)	1056.8
繰上充用金	76.8
合計	1133.6

◆ 単年度収支(A-B) : 21.6億円
累積赤字を埋めるための繰上充用金を除いた全ての収支

◆ 実質的な収支(A-B-C) : △14.2億円
保険料や法定公費などの国保事業本来の収入と給付費等の支出を比較した実質的な収支

前期高齢者交付金・・・国保や被用者保険の65歳から74歳の前期高齢者の偏在による保険者間の負担の不均衡を各保険者の加入者数に応じて調整

共同事業交付金・拠出金・・・「保険財政共同安定化事業」、県内全体の医療費について、各市町村の被保険者数の割合等一定のルールに応じて拠出し負担を共有する仕組み

繰上充用金・・・決算で歳入が歳出に満たない場合、翌年度の予算から繰り上げて充用する地方自治法上の会計処理